

## 助産学概論/Introduction to Midwifery

MB101mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域  
1単位 前期  
講義  
必修

湯本 敦子、小口 治

### 〔授業の概要〕

少子高齢化社会の要請に応え、次世代を育成し、ひとの生涯を通じた性と生殖の健康に焦点をあてて活動する、専門職としての助産師の意義、専門性、役割と責務を学ぶ。助産における基本概念、法的責任・業務、助産師と倫理、母子保健及び助産の変遷と現状、産育文化、及び諸外国を含む助産師基礎教育・キャリア教育について学修する。さらに助産ケアに生かす東洋医学の基礎知識を学ぶ。

### 〔到達目標〕

1. 助産および助産師の定義、及び助産師の業務、身分、役割と責任について説明できる。
2. 助産師に求められる能力（コンピテンシー）は何かを説明できる。
3. リプロダクティブヘルス/ライツの定義および課題について説明できる。
4. 助産師のケアに関わる基本的概念や理論について説明できる。
5. 国内外の母子保健を概観し、動向と課題を述べることができる。
6. 助産師教育の現状、助産師が活動する場、国内外の助産師に関連する団体について説明できる。
7. 助産師の倫理的感応力の重要性を述べるができる。
8. 助産ケアにおける多様な文化の理解の必要性を述べるができる。
9. 助産ケアにおける東洋医学の基礎とその活用について述べるができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

### 〔授業計画〕

- |       |  |
|-------|--|
| 第 1 回 | 助産師が行うケア 1 イントロダクション<br>(講義/湯本)                              |
| 第 2 回 | 助産師が行うケア 2 助産師の業務と役割・助産師のコンピテンシー/リプロダクティブヘルスと助産ケア<br>(講義/湯本) |
| 第 3 回 | 助産ケアを支える概念・理論<br>(講義/湯本)                                     |
| 第 4 回 | 母子保健の動向と課題<br>(講義/湯本)  |
| 第 5 回 | 助産師教育、国際化と助産師、助産師と倫理<br>講義/湯本                                |
| 第 6 回 | 産育の歴史と文化<br>(講義/湯本)  |
| 第 7 回 | 助産ケアと東洋医学 1<br>(講義/小口)                                       |
| 第 8 回 | 助産ケアと東洋医学 2  |

(講義/小口)

〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト：助産師基礎教育テキスト第1巻助産概論. 日本看護協会出版会

助産学講座3基礎助産学[3] 母子の健康科学. 医学書院

参考文献：助産師業務要覧第3版 基礎編 日本看護協会出版会

そのほか適宜、授業内で紹介する

### 〔成績評価の方法・基準〕

課題レポート：初回授業時に提示する

\*レポート作成では、文献等のコピーのみでは評価しない。必ず自分の考えを自分の言葉でまとめること。

### 〔課題に対するフィードバック〕

課程修了時に返却する。

### 〔授業時間外学修〕

事前・事後学習：教科書該当箇所・配布された関連資料をよく読むこと。(1時間)

課題学習：課題レポートのテーマに従い、積極的に文献や書籍などを手に取り、参考にしながら、自分の考えをまとめること。(4時間)

### 〔オフィスアワー〕

授業終了時に質問を受け付ける

あるいは研究室（5号館3階301）在室時の時間で調整する。希望がある場合は要事前連絡。

a-yumoto@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

### 〔アクティブラーニング〕

#### 〔その他履修上の留意事項等〕

助産師を取り巻く環境は変化していきます。助産師としての期待される役割、義務、責任は何か、考え続けましょう。アンテナを張り、女性、子ども、母子、家族に関する多くの課題や問題に積極的な関心を持ち、関心のあるテーマに対して、主体的に学習していきましょう。

## 生殖の基礎科学/Anatomy and Physiology of Human Reproduction

MB102mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域  
1単位 前期  
講義  
必修

木村 薫

### 〔授業の概要〕

助産学の基礎科学として、男女生殖器の形態・機能の特性、性の分化と発達、女性の正常な性周期、妊娠の成立と維持、胎児の成長発達、さらに母子免疫、遺伝医学の基礎について学修する。

### 〔到達目標〕

1. リプロダクションに関する形態・機能的特性について説明できる。
2. 女性の性周期に関わる視床下部-下垂体-下垂体-卵巣機能について説明できる。

3. 乳房の構造と乳汁分泌の仕組みについて説明できる。
4. 遺伝の仕組みと遺伝疾患について説明できる。
5. 母子の免疫機能について説明できる。
6. 女性のライフサイクル(思春期・成熟期・更年期)に起こる婦人科的疾患について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

第1-4回（講義／木村）

性の分化と発達

生殖に関わる形態的特性

：男女生殖器の形態機能 正常編

：男女生殖器の形態機能 異常編

間脳・下垂体機能と卵巣機能

第5-6回（講義／木村）

遺伝と遺伝疾患・周産期の遺伝医療

母子と免疫

第7-8回（講義／木村）

女性生殖器疾患と健康課題

：無月経、乳房・子宮・卵巣疾患、更年期障害、性感

染症、家族計画

〔テキスト・参考書・参考文献〕

<テキスト>

我部山キヨ子, 武谷雄二, 藤井知行編. 助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学. 医学書院.

綾部琢哉, 板倉敦夫編. 標準産科婦人科学. 医学書院.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験100%

〔課題に対するフィードバック〕

〔授業時間外学修〕

解剖生理を含む母性看護領域における基礎知識、および成人看護領域における女性生殖器疾患について十分に復習した上で授業に臨んでください。

毎回の事前学習・復習を習慣づけてください。(各回1時間)

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

授業の進行は、学習進度に伴い変更があります。

助産学の基礎知識であり、実践するにあたり、身に付けておかななくてはならない科目です。

## 周産期医学Ⅰ（妊娠・分娩・産褥）/Perinatal Medicine I (Pregnancy, Labour, Puerperum)

MB103mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域

2単位 前期

講義

必修

中田 覚子、木村 薫、小口 治

〔授業の概要〕

助産学に必要な産科学の知識として、妊娠期、分娩期、産褥期における母体の生理及び異常、合併症の病態と診断・治療、及び産科手術について学ぶ。また、母子に関する薬剤について学修する。

〔到達目標〕

1. 妊娠の成立過程と維持機構について説明できる。
2. 胎児の発育、性の分化と発達のプロセス、胎盤機能について説明できる。
3. 母子の免疫機能について説明できる。
4. 妊娠・分娩期・授乳期における母子と薬剤の影響について説明できる。
5. 妊娠期の異常の診断とハイリスク妊娠の医学的管理を説明できる。
6. 分娩期の異常の病態生理と病態生理に基づく医学的管理を説明できる。
7. 周産期における医療機器を用いた診断方法の目的、意義、方法を説明できる。
8. 産科手術について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

第1-2回、第5-6回、第9-10回（講義／木村）

妊娠の生理

：妊娠の成立と維持

：妊卵の初期の発育（胎芽期まで）と胎盤形成

：妊娠による母体の変化

：胎児付属物の構造と機能

：妊娠経過に伴う胎児の発育

母子と薬剤・放射線

妊娠期における異常(1) 妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群

妊娠期における異常(2) 切迫早産、双胎、母子感染症

第3-4回、第7-8回、第11-15回（講義・演習／小口）

分娩期における異常の医学的管理(1) 分娩時母体損傷

1) 頸管裂傷・膣・会陰裂傷

2) 会陰裂傷・会陰切開と縫合技術及び裂傷に伴う止血技術（演習）

技術（演習）

分娩期における異常の医学的管理(2) 産道の異常

1) 骨産道の異常（狭骨盤、広骨盤）

2) 軟産道の異常（軟産道強靱）

分娩期における異常の医学的管理(3) 娩出力の異常

1) 微弱陣痛・過強陣痛

2) 子宮収縮薬の投与と管理

分娩期における異常の医学的管理(4) 胎児および胎児付

## 属物の異常

- 1) CPD (巨大児含む)
- 2) 進入異常
- 3) 回旋異常
- 4) 胎児機能不全 (CTG、急墜分娩含む)
- 5) 臍帯の異常
- 6) 胎盤の異常
- 7) 羊水の異常 (非適時破水含む)

## 産褥期の異常

- 1) 子宮復古不全
- 2) 産褥熱
- 3) 静脈瘤、血栓性静脈炎、深部静脈血栓症、肺塞栓症

## 産科手術

- 1) 吸引分娩術
- 2) 鉗子分娩術
- 3) 帝王切開術

## 周産期における医療機器を用いた診断

- 1) X線骨盤計測法
- 2) CTG判読方法

## 助産師が行う超音波診断技術 (演習)

- 1) 周産期の超音波診断・技術

## 〔テキスト・参考書・参考文献〕

### ＜テキスト＞

我部山キヨ子, 武谷雄二編. 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期. 医学書院.

我部山キヨ子, 藤井知行編. 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期. 医学書院.

小林康江編. 助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア. 日本看護協会出版会.

中井章人. 図説CTGテキスト. メジカルビュー社.

日本産科婦人科学会, 日本産婦人科医会編. 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023. 日本産科婦人科学会.

## 〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験100%

妊娠期 (木村先生担当範囲) および分娩・産褥期 (小口先生担当範囲) についてそれぞれ筆記試験を行います。それぞれの試験において基準点以上を単位取得として認めます。

## 〔課題に対するフィードバック〕

## 〔授業時間外学修〕

テキストの講義該当部分を事前に熟読の上、講義に参加し、講義内資料において不明な点等については、必ずテキスト等で振り返ってください。(各回1時間)

## 〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

## 〔実務経験のある教員等による授業科目〕

## 〔アクティブラーニング〕

## 〔その他履修上の留意事項等〕

授業の進行は、学習進度に伴い変更があります。

近年の助産師国家試験は、周産期における異常時の対応に関する設問が増加傾向にあります。常に臨床現場をイメージし、臨床で使える知識を着実に養っていきましょう。協働する医師から講義を受けることで、他職種が求める助産師像についても考察する機会としましょう。

## 周産期医学Ⅱ (新生児) / Perinatal Medicine II (Neonate)

MB104mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域  
1単位 前期  
講義  
必修

田村 正徳

## 〔授業の概要〕

新生児の子宮外生活への適応過程に関わる診断と診断技術、新生児及び低出生体重児に起こりやすい疾患の病態と診断・治療について学修する。

## 〔到達目標〕

1. 新生児の子宮外生活適応過程および成長・成熟について説明できる。
2. 新生児の子宮外生活への適応における正常からの逸脱の診断について説明できる。
3. 新生児によくみられる症状・状態・疾患について、その病態・診断・治療について説明できる。
4. 低出生体重児、早産児の特徴や疾患について説明できる。

## 〔学位授与方針 (ディプロマポリシー: DP) との関連〕

## 〔授業計画〕

### 第1-2回 (講義/田村)

#### 新生児の診断と管理 1

: 胎児の発育とその障害

: 成熟新生児の子宮外生活適応過程

(出生直後/生後24時間以内/生後24時間以降)

### 第3-4回 (講義/田村)

#### 新生児の診断と管理 2

: 新生児期に見られる正常からの逸脱および異常な症状・状態・疾患

: 新生児期に必要な治療

### 第5-6回 (講義/田村)

#### 新生児の診断と管理 3

: 低出生体重児・早産児の特徴

: 低出生体重児・早産児の疾患の病態・診断・管理

### 第7-8回 (講義/田村)

#### 新生児の診断と管理 4

: 新生児のフィジカルアセスメント・見逃してはいけない症状

: 新生児医療に関連したガイドライン

## 〔テキスト・参考書・参考文献〕

### ＜テキスト＞

石井邦子, 廣間武彦編. 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期. 医学書院.

仁志田博司編. 新生児学入門. 医学書院.

細野茂春監修. 日本版救急蘇生法ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト. メジカルビュー社.

＜参考書＞

日本新生児育成医学会編. 新生児学テキスト. メディカ出版.  
小林康江編. 助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産  
褥婦・新生児へのケア. 日本看護協会出版会.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験100%

〔課題に対するフィードバック〕

〔授業時間外学修〕

授業前および授業後にテキスト及び授業資料をよく読み、  
予習・復習してください。(各回1～2時間ずつ)

自分の学習ノートを作成してまとめることをお勧めします。  
作成した学習ノートは助産学実習や国家試験勉強にも役に  
立ちます。

〔オフィスアワー〕

授業終了時に質問を受け付けます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

新生児を一人の人間として尊重し大切に思い、助産師とし  
て必要な知識・技術を学び、ケアしていきましょう。

また、出生前・出生時から新生児期を経て乳幼児期へと継  
続した視点を持つこと、他の職種との共同管理のもとでの  
ケアの実践分野であることも忘れないようにしましょう。

---

生命科学と倫理/Bioethics in Midwifery

MB105mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域  
1単位 前期  
講義  
必修

中田 覚子、盛岡 正博

---

〔授業の概要〕

生殖医療の場における生命倫理の特性、助産に関連する生  
命倫理のジレンマと課題を理解し、支援と責務について学  
ぶ。専門職としての倫理的感受性と態度を考察する。

〔到達目標〕

1. 思索すること、悩むことの大切さを修得する。
2. 他者の表現することの理解に努め、共感し寄り添うこ  
との意味を知る。
3. 専門職として学ぶ自覚と他者との関係性の大切さを理  
解する。
4. 周産期医療の場で直面する生命倫理に関わる問題を理  
解する。
5. 倫理的問題に直面する人々への支援の在り方について  
考察できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

第1～6回（講義／盛岡）

生命倫理学の歴史的背景

生命誕生と医学の介入

：人工授精、体外受精など

：再生医療、iPS細胞の可能性と課題

生を絶つことへの医学の介入

：人工妊娠中絶、女性の自己決定権

：選別出産、減数手術など

インフォームド・コンセント

：医師の裁量権とパターンリズム

：脳死と臓器移植

生命が平等足りうる社会か

第7回（講義／特別招聘講師）

出生前診断：遺伝カウンセラーの役割と活動

第8回（講義／中田）

助産師と倫理

〔テキスト・参考書・参考文献〕

＜テキスト＞

塩野寛, 清水恵子(2021). 生命倫理への招待. 南山堂.

〔成績評価の方法・基準〕

リアクションペーパーおよびレポート 100%

・講義終了後のリアクションペーパーの記述内容

・課題に対する「生命倫理」的考察の記述内容

〔課題に対するフィードバック〕

〔授業時間外学修〕

テーマに従って講義資料を用意します。受講後に復習をし  
てください。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

執務室（5号館1階理事長室）の扉が開いている際は、随時  
相談を受け付けます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

臨床で活動している助産師（遺伝カウンセラー）を特別招  
聘講師として招き、実務経験をもとに、出生前診断につい  
て講義をしてもらいます。

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

講義時に見聞するニュースなどを資料として用いることも  
あるので、社会的話題にも関心をもってください。覚える  
学問ではありません。思索を楽しみ、自分探しの時間にし  
てください。

---

家族関係発達論/Development of Family  
Relationship

MB106mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 基礎領域  
1単位 前期  
講義  
必修

竹内 良美

---

〔授業の概要〕

家族の発達、母性・父性・親性の心理的発達、妊娠・出産・  
子育て期にある親子・家族の心理的・社会的な特性などを  
学び、周産期・育児期における健康な親子関係・家族の形  
成・発達を支援できる基礎的知識を学修する。

〔到達目標〕

1. 現代の家族の機能・役割・発達課題と法律について述べることが出来る。
2. 様々なライフステージにおける女性・母親の心理的発達と特徴を説明できる。
3. 周産期及び子育て期における病理に陥る心理的要因が解り、支援を考察出来る。
4. 母親・父親・子育ての現代社会における特徴と課題について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 女性や母子、家族をめぐる心理・社会的な課題  
事前課題の発表とグループワーク／竹内
- 第 2 回 女性のライフサイクル各期における心理・社会的課題  
講義／竹内
- 第 3 回 親子関係・家族関係について考える  
講義／竹内
- 第 4 回 母子関係の形成と課題Ⅰ（母性と社会通念、母子関係の形成）  
講義／竹内
- 第 5 回 父子関係の形成と課題（父親と父性意識、発達課題）  
講義／竹内
- 第 6 回 母子関係の形成と課題Ⅱ（周産期の女性の心理、発達課題、ストレス）  
講義／特別講師（公認心理士・保健師）
- 第 7 回 現代家族と母性・父性、子育て  
講義／竹内
- 第 8 回 妊娠・出産をめぐる諸問題  
講義／竹内

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〈テキスト〉

助産学講座4基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学.医学書院.  
 助産学講座6助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期.医学書院.  
 助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期.医学書院.  
 妊産婦メンタルヘルスマニュアル～産後ケアへの切れ目ない支援に向けて～.日本産婦人科医会.

〈参考書〉

ルヴァ・ルービン(1996).母性論.医学書院.  
 家族看護学,理論と実践.日本看護協会出版会.

〔成績評価の方法・基準〕

最終レポート 80%  
 事後課題レポート 20%

〔課題に対するフィードバック〕

レポートに対してコメントを入れて返却する。

〔授業時間外学修〕

授業内容にあたる教科書を読んで、事前学習を行います。  
 (約45分)  
 講義終了後に資料や教科書を読んで、理解を深めます。(約45分)

〔オフィスアワー〕

授業終了後、教室で質問を受けます。  
 随時、メール、竹内(y-takeuchi@saku.ac.jp)で質問を受けます。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

第5回は周産期病棟に勤務している公認心理士・保健師による講義を予定しています。

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

女性の心のありようがライフサイクルとともに大きく変化する過程を把握でき、目の前の対象に寄り添える助産師を目指してください。そして、女性のみに限らず、家族の発達へ目を向けてケアができる視点を養っていくことが大切です。同時に自己の心のありようも客観的に俯瞰できることを目指したいと思います。

妊娠期の診断とケア/Midwifery Care - Pregnancy

MS201mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
 1単位 前期  
 演習  
 必修

竹内 良美、中田 覚子、柳沢 明子、柴田 香菜子

〔授業の概要〕

妊娠期における母体の身体的・心理的・社会的変化、文化的背景、胎児の成長発達、及び妊娠期に起こりやすい異常の診断と管理について理解し、対象を統合的に捉え、妊娠期の母児の健康状態の診断と妊娠経過に応じたケアを実践するための基礎的能力を養う。

〔到達目標〕

1. 妊娠期における母体の身体的・心理的・社会的変化に関する基礎的知識を理解し、説明できる。
2. 妊娠期における助産技術とその留意点について説明ができる。
3. 模擬事例に対して、助産過程を展開できる。
4. 妊娠期に必要な健康教育を理解し、計画立案・実施・評価ができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 助産診断・技術学の概要と妊娠期の助産過程の特徴  
講義／中田、竹内
- 第 2 回 妊娠の生理と心理社会的変化、その支援  
講義／竹内
- 第 3 回 妊娠期のフィジカルアセスメント、助産過程  
講義／竹内
- 第 4 回 妊娠期の助産技術演習①  
演習／竹内、中田、柴田
- 第 5 回 妊娠期の助産技術演習②  
演習／竹内、中田、柴田
- 第 6 回 妊娠期の助産過程の展開①  
講義／竹内、中田、柴田

- 第 7 回 妊娠期の助産過程の展開②  
講義／竹内、中田、柴田
- 第 8 回 妊婦への支援①  
講義・演習／柳沢
- 第 9 回 妊婦への支援②  
講義・演習／柳沢
- 第 10 回 妊娠期の助産過程の展開③  
講義／竹内、中田、柴田
- 第 11 回 妊婦健康診査の演習①  
講義・演習／竹内、中田、柴田
- 第 12 回 妊婦健康診査の演習②  
演習／竹内、中田、柴田
- 第 13 回 妊娠期の健康教育①  
講義・演習／竹内、中田、柴田
- 第 14 回 妊娠期の健康教育②  
講義・演習／竹内、中田、柴田
- 第 15 回 妊娠期の健康教育③  
演習／竹内、中田、柴田

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〈テキスト〉

助産学講座6.助産診断・技術学Ⅱ[2]妊娠期.医学書院.  
今日の助産.マタニティサイクルの助産診断・実践課程.改訂  
第4版.南江堂.  
産婦人科ガイドライン：産科編2023.日本産婦人科学会・日  
本産婦人科医会.  
助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版.医学  
書院.  
標準産科婦人科学.医学書院.

〈参考書・参考文献〉

助産師基礎教育テキスト2024年版第4巻妊娠期の診断とケ  
ア.日本看護協会出版会.  
週数別妊婦健診マニュアル第2版.医学書院.  
写真でわかる助産技術アドバンス.インターメディカ.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験 50%  
助産過程の展開 30%  
健康教育の展開 20%

〔課題に対するフィードバック〕

助産過程の展開や健康教育内容に対して、状況に応じて対  
面で指導を行い、コメントを入れて返却する。

〔授業時間外学修〕

授業前および授業後にテキスト及び授業資料をよく読み、  
予習・復習してください。(各回1～2時間ずつ)  
助産過程の展開や保健指導案作成が授業時間内に終わらな  
い場合は時間外に進めて頂きます。

〔オフィスアワー〕

1. 毎回、授業終了後に教室で質問を受けます。
2. 科目に関する質問は随時メールを受け付けますが、対面  
での対応を希望する場合は事前に  
メールで連絡をしてください。

アドレス：y-takeuchi@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

母性看護学をはじめ、基礎看護学や形態機能学などは、必  
ず復習して臨んでください。

妊娠期の生理的な変化や心理・社会的な変化はその後の分  
娩期や産褥期にも関連していきます。妊娠期の授業ですが、  
その後の分娩期や産褥期につながっていくということを知  
識して学んでください。

## 分娩期の診断とケア/Midwifery Care - Childbirth

MS202mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
3単位 前期  
演習  
必修

中田 覚子、湯本 敦子、竹内 良美、柴田 香菜子

〔授業の概要〕

正常な分娩プロセスを理解し、分娩進行状態と分娩期にお  
ける母児の身体・心理・社会的健康状態を診断し、分娩介  
助技術及び正常経過を促進するケア、及び異常を予測し、  
早期発見とその対応を含む助産ケアを実践できる臨床判断  
力と基礎的技術を養う。

〔到達目標〕

1. 分娩4要素（産道・娩出物・娩出力・産婦の精神状態）  
および分娩4要素の関連因子から、  
分娩機転を説明できる。
2. 分娩期における助産技術とその留意点について説明がで  
きる。
3. 模擬事例に対して、助産過程を展開できる。
  - 1) 問診、視診、外診、内診を用いて、分娩期の診断に必  
要な情報を収集できる。
  - 2) 収集した情報を分析・解釈できる。
  - 3) 上述1)–2)を統合し、以下(1)–(4)について助産診断で  
きる。
 

(1) 分娩開始の診断	(2) 現在の分娩時期の診 断
(3) 現在の分娩経過の診断	(4) 今後の分娩経過の予 測
  - 4) 上述1)–3)を根拠として、助産計画を立案できる。
  - 5) 助産計画の一部を実践できる。
  - 6) 産婦・胎児・家族の反応から、助産実践を評価し、必  
要に応じて修正できる。
4. 分娩期のケアとして必要となる看護基礎技術を実行でき  
る。
  - 1) VS測定
  - 2) 衛生的な手洗い
  - 3) 清潔操作
  - 4) ガウンテクニック
  - 5) 導尿
5. 分娩介助に必要な環境整備(分娩介助の準備)を実行でき  
る。
  - 1) 産婦の安全・安楽を考慮した環境整備
  - 2) 清潔操作による分娩資器材の準備

- 3) 清潔操作による分娩野作成
  - 4) 分娩介助に向けた効率的な資器材の配置
6. 分娩介助モデルを用いて、仰臥位分娩介助を手順通りに実施できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

第1回（講義／中田）

オリエンテーション

分娩期の診断とケア

：分娩の概念

第2-3回（演習／柴田・中田・竹内）

看護基礎技術

：VS測定、衛生的な手洗い、清潔操作、ガウンテクニック、導尿

第4-8回（講義／中田）

分娩期の診断とケア

：分娩4要素・分娩の機序

：正常分娩の臨床経過と母児に及ぼす影響

：分娩4要素の診断・内診技術

第9回（試験／中田・竹内・柴田）

基礎看護技術試験（VS測定、衛生的な手洗い、導尿）

第10回（試験・演習／中田・竹内・柴田）

中間試験（第1回～第6回までの講義内容に関する筆記試験：30分）

分娩機転のプレゼンテーション（1人10分程度）

※プレゼンテーションに関する詳細は第1回目に説明します。

第11-12回（演習／中田・竹内・柴田）

助産ケア技術

：内診法、産痛緩和法、呼吸法、分娩体位の工夫、分娩を促進させるケア

第13-14回（演習／中田・竹内・柴田）

分娩介助技術1

：分娩介助のための環境整備、分娩介助に向けた物品準備

第15回（講義／中田）

分娩期の診断とケア

：助産過程の展開、時期診断、経過診断

第16-17回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開1

：初産婦（入院時）

第18-19回（演習／中田・竹内・柴田）

分娩介助技術2

：外陰部消毒、清潔野作成

第20-21回（演習／中田・竹内・柴田）

分娩介助技術3

：仰臥位分娩における児娩出、胎盤娩出、産道点検

第22回（演習／中田・竹内・柴田）

分娩介助技術4

：会陰切開時・吸引分娩・鉗子分娩時の会陰保護、人工破膜、臍帯巻絡解除

第23-24回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開2

：初産婦（分娩第1期）

第25-26回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開3

：初産婦（分娩第2期）

第27-28回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開4

：初産婦（分娩準備の判断）

第29回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開5

：初産婦（分娩直後）

第30-31回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開6

：経産婦（入院から分娩第1期）

32回（講義／中田）

麻酔分娩

第33-34回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション1（入院時の関わり）

第35-36回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション2（報告の仕方）

第37-38回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション3（分娩第1期の関わり）

第39-40回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション4（分娩室入室・分娩準備の判断）

第41-42回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション5（分娩第2期・外陰部消毒の判断）

第43回（試験／中田・竹内・柴田）

分娩技術試験Ⅰ（分娩セットの展開、外陰部消毒）

第44回（試験／中田・竹内・柴田）

分娩技術試験Ⅱ（清潔野作成から分娩介助術、産道点検）

## 第45回（試験／中田・竹内・柴田・湯本）

実習前OSCE（客観的臨床能力試験）

〔テキスト・参考書・参考文献〕

＜テキスト＞

我部山キヨ子, 藤井知行編. 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ  
[2] 分娩期・産褥期. 医学書院.

我部山キヨ子, 大石時子編. 助産師のためのフィジカルイグ  
ザミネーション. 医学書院.

北川真理子, 内山和美編. 今日の助産 マタニティサイクルの  
助産診断・実践過程. 南江堂.

日本産婦人科学会, 日本産婦人科医会編. 産婦人科診療ガイ  
ドライン産科編 2023. 日本産婦人科学会.

中井章人. 図説CTGテキスト. メジカルビュー社.

＜参考図書＞

町浦美智子編. 助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断  
とケア. 日本看護協会出版会.

平澤美恵子, 村上睦子監修. 写真でわかる助産技術アドバ  
ンス. インターメディカ.

石川紀子, 中川有加編. THE 分娩. メディカ出版.

〔成績評価の方法・基準〕

①課題レポート（分娩セット器材に関する課題、標準看護  
計画、シミュレーション振り返り）

②プレゼンテーション

③助産過程の展開

④筆記試験(中間試験)

⑤基礎看護技術試験

⑥分娩技術試験Ⅰ

⑦分娩技術試験Ⅱ

⑧筆記試験(定期試験)

⑨OSCE(客観的臨床能力試験)

※上記①②③④⑤⑥⑦⑧⑨の各成績評価において合格基準に  
達することが必要となります。

それぞれの評価基準は別途示します。

※上記④⑤に合格した者のみが、⑥の受験資格を得ることが  
できます。

※上記⑥に合格した者のみが、⑦の受験資格を得ることがで  
きます。

※上記①②③④⑤⑥⑦⑧のすべてに合格した者が、⑨の受験  
資格を得ることができます。

※上述①②③④⑤⑥⑦⑧⑨のすべての合格をもって、単位修  
得が認定されます。

※合格基準を満たしても、成績により追加課題や追加試験を  
課すことがあります。

＜助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修するための必須条件＞

本科目を含む前期必修科目すべての単位を修得しているこ  
とが条件となります。

〔課題に対するフィードバック〕

提出された課題に関しては、その都度、コメントをフィー  
ドバックします。

実技試験およびOSCEに対するフィードバックは、クラス全  
体および個別に行います。

〔授業時間外学修〕

毎回の授業において、予習・復習が不可欠となります。（各  
回1時間）

また、基礎看護技術および分娩技術の習得には、自己練習  
の時間確保が必要となります。自身の学習進度に応じて、  
他科目の課題等を考慮しながら、自己学習計画を立て、着  
実に進めてください。

助産過程の展開や助産計画立案が授業時間内に終わらない  
場合は時間外に進めて頂きます。

シミュレーション演習に関しては、事前課題・事後課題が  
あります。（各シミュレーションに対して1時間）

〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問を受け付けます。授業中や自己練習時間  
でも積極的に質問をしてください。

研究室を訪ねたい場合は事前に連絡をしてください。

s-nakata@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

○

〔その他履修上の留意事項等〕

本科目は、助産師独自の仕事として最も核となるものです。  
また、少子化が進む現代日本において、分娩は、女性やそ  
のご家族にとって、これまで以上に貴重なライフイベント  
となっています。安全かつ快適に、そして、納得・満足の  
いく分娩へのサポート役として、助産実践能力を存分に発  
揮できるよう、積極的に学ぶとともに、学生同士で協力し  
合いながら切磋琢磨してください。助産実践能力を身につ  
けるためには、授業時間以外に計画的に自己学習・自己練  
習の時間を確保し、着実に課題をクリアしていく必要があ  
ります。

## 産褥期の診断とケア/Midwifery Care - Postpartum

MS203mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 前期  
演習  
必修

中田 覚子、竹内 良美、黒澤 かおり、柴田 香菜子

〔授業の概要〕

産褥期における母体の生理的・心理的変化及び文化的背景  
を理解し、対象を統合的に捉え、母親の健康状態を診断し、  
回復過程を促進するケア、及び母乳哺育の確立と育児支援  
のための診断・技術を実践できるための基礎的能力を養う。

〔到達目標〕

1. 産褥期における母体の生理的・心理的・社会的変化に関  
する基礎的知識を理解し、  
説明できる。
2. 産褥期における助産技術とその留意点について説明がで  
きる。
3. 模擬事例に対して、助産過程を展開できる。
4. 産褥期に必要な健康教育を理解し、計画立案・実施・評  
価ができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

第1回（講義／中田）

オリエンテーション

産褥期の助産診断と助産ケアの特徴

第2-3回（講義／中田）

産褥期の生理的・心理的・社会的変化と助産ケア

第4回（講義／中田）

産褥期の異常と助産ケア

第5-6回（講義・演習／黒澤）

母乳育児支援1・2

：コミュニケーション術

第7回（講義・演習／柴田）

母乳育児支援3

：助産ケアの実際

第8回（演習／中田・竹内・柴田）

バースレビューの実施

第9回（演習／中田・竹内・柴田）

産褥期の助産技術演習

第10回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開1

：産褥1日目の初産婦

第11回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開2

：産褥3日目の初産婦

第12回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開3

：産褥5日目の初産婦

第13回（演習／中田・竹内・柴田）

助産過程の展開に基づく健康教育案の作成

第14-15回（演習／中田・竹内・柴田）

産褥期の健康教育の実施

〔テキスト・参考書・参考文献〕

＜テキスト＞

我部山キヨ子, 藤井知行編. 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期. 医学書院.

我部山キヨ子, 大石時子編. 助産師のためのフィジカルイグザミネーション. 医学書院.

北川眞理子, 内山和美編. 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程. 南江堂.

日本産婦人科学会, 日本産婦人科医会編. 産婦人科診療ガイドライン産科編2023. 日本産科婦人科学会.

＜参考図書＞

平澤美恵子, 村上睦子監修. 写真でわかる助産技術アドバンス. インターメディカ.

江藤宏美編. 助産師基礎教育テキスト第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア. 日本看護協会出版会.

日本ラクテーション・コンサルタント協会編. 母乳育児支援スタンダード 第2版. 医学書院.

BFHI 2009 翻訳編集委員会訳. UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援ガイド ベーシック・コース「母乳育児成功のための10カ条」の実践. 医学書院.

伊藤真也, 村島温子編. 薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 改訂3版. 南山堂.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験 55%

助産過程の展開 30%

健康教育内容および指導態度 15%

〔課題に対するフィードバック〕

提出された課題に関しては、その都度、コメントをフィードバックします。

〔授業時間外学修〕

授業前および授業後にテキスト及び授業資料をよく読み、予習・復習してください。（各回1～2時間ずつ）

助産過程の展開や健康教育案作成が授業時間内に終わらない場合は時間外に進めて頂きます。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問を受け付けます。授業中や自己練習時間でも積極的に質問をしてください。

研究室を訪ねたい場合は事前に連絡をしてください。

s-nakata@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

○

〔その他履修上の留意事項等〕

助産師には、母体と児の両方の視点から判断する能力、これまでの経過を考慮するとともに、先を予測しながら対応する助産実践能力が求められます。これらの能力を身につけるために、周産期における対象は1人ではないこと、継続した経過の中で対象を捉えることを意識してきましょう。

助産過程の展開は「新生児・乳幼児期の診断とケア」と連動させて行います。

新生児・乳幼児期の診断とケア/Midwifery Care - Newborns

MS204mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 前期  
演習  
必修

中田 覚子, 竹内 良美, 田村 正徳, 柴田 香菜子

〔授業の概要〕

新生児期における子宮外生活への適応過程を理解し、新生児の健康状態を診断し、成長発達を促進するケア、異常の発見と異常経過におけるケアを実践できる基礎的能力を養

う。また、出生時に胎外呼吸循環が順調に移行できない新生児に対する心肺蘇生法を学ぶ。さらに乳幼児期における成長発達を理解し、成長発達の評価と発達を促すケアについて学修する。

#### 〔到達目標〕

1. 新生児の子宮外生活適応過程を説明できる。
2. 新生児期における助産技術とその留意点について説明ができる。
3. 新生児によくみられる異常とその対応・管理について説明できる。
4. 模擬事例に対して、助産過程を展開できる。
4. 蘇生を必要とする新生児に対する適切な対応について説明・実施できる。
5. 乳幼児健診のポイントを挙げるができる。
6. 乳幼児の養護と養育者が抱く不安について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

#### 〔授業計画〕

第1-4回（演習／中田、中田、竹内）

新生児蘇生法 Aコース

第5-7回（講義／中田）

新生児期の生理的変化と助産ケア

新生児期の助産過程の視点

第8回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開1

：生後1日目

第9回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開2

：生後3日目

第10回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開3

：生後5日目

第11回（演習／中田・竹内・柴田）

助産過程の展開に基づく助産ケアの立案

第12-13回（講義／中田）

乳幼児期の成長と発達の評価方法と視点

乳幼児期の発達の観察ポイントと養育者への支援

予防接種・事故予防

第14-15回（演習／中田、竹内、柴田）

新生児のフィジカルイグザミネーション

〔テキスト・参考書・参考文献〕

＜テキスト＞

石井邦子, 廣間武彦編. 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3]

新生児期・乳幼児期. 医学書院.

我部山キヨ子, 大石時子編. 助産師のためのフィジカルイグザミネーション. 医学書院.

仁志田博司編. 新生児学入門. 医学書院.

細野茂春監修. 日本版救急蘇生法ガイドライン2020に基づく

新生児蘇生法テキスト. メジカルビュー社.

＜参考図書＞

平澤美恵子, 村上睦子監修. 写真でわかる助産技術アドバンス. インターメディカ.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験 50%

助産過程の展開 30%

新生児蘇生法に関する事前準備状態（プレテスト）10%

新生児のフィジカルイグザミネーションの手順書作成 5%

4か月児の玩具作成企画書 5%

〔課題に対するフィードバック〕

提出された課題に関しては、その都度、コメントをフィードバックします。

〔授業時間外学修〕

授業前および授業後にテキスト及び授業資料をよく読み、「周産期医学Ⅱ」と関連させて予習・復習してください。（各回1～2時間ずつ）

助産過程の展開や助産計画立案が授業時間内に終わらない場合は時間外に進めて頂きます。

第14-15回の技術演習までに、新生児のフィジカルイグザミネーションの手順書の作成を行ってください。（3-5時間）

〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問を受け付けます。

その他は事前にメールで連絡をしてください。

s-nakata@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

新生児蘇生法（NCPR）Aコースは、インストラクターの資格を持つ本学教員による講習です。

〔アクティブラーニング〕

○

〔その他履修上の留意事項等〕

妊娠・分娩・産褥経過は新生児・乳幼児の状態に影響を及ぼします。そのため、助産師には、母体と児の両方の視点から判断する能力、これまでの経過を考慮するとともに、先を予測しながら対応する助産実践能力が求められます。これらの能力を身につけるために、周産期における対象は1人ではないこと、継続した経過の中で対象を捉えることを意識してきましょう。

助産過程の展開は「産褥期の診断とケア」と連動させて行います。

「周産期医学Ⅱ」と関連させて学修していきましょう。

## 周産期ハイリスクケア/Midwifery Care - High Risk Condition

MS205mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 前期  
講義  
必修

中田 覚子、湯本 敦子、竹内 良美、柴田 香菜子、小口 治、  
廣間 武彦

### 〔授業の概要〕

産科的ハイリスク状態にある妊婦・産婦・褥婦について、身体・心理・社会的側面から統合的にアセスメントし、その援助技術を学ぶ。また、周産期における緊急事態時の対応について学修する。

### 〔到達目標〕

1. 周産期医療の現状と助産師の業務範囲を理解し、助産師がハイリスクケアを学ぶ意義が説明できる。
2. 周産期各期のハイリスク状態に関する知識を養い、以下の能力を習得できる。
  - 1) 正常と異常の境界領域にある状態の観察とアセスメントができる
  - 2) ハイリスク妊産婦へのケアについて述べるができる
  - 3) 医師への照会や搬送のための判断と対応について説明できる
  - 4) 周産期各期の急変時の対応が説明できる
  - 5) 胎児機能不全出現時および産科的危機的出血時の対応ができる

### 〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

### 〔授業計画〕

#### 第1回（講義／中田）

オリエンテーション

周産期における異常と助産ケア1

：ハイリスク妊娠とは  
健康行動理論の活用

#### 第2-3回（講義／中田）

周産期における異常と助産ケア2

：妊娠悪阻、切迫早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、帝王切開、偶発疾患合併妊娠

#### 第4-6回（演習／中田・竹内・柴田）

事例を用いた助産過程の展開

：切迫早産、帝王切開

#### 第7回（講義／中田）

助産師の臨床判断能力

周産期における症候と臨床推論

#### 第8回（講義／小口）

周産期における異常と医学的管理

：産科危機的出血（弛緩出血、常位胎盤早期剥離、子宮破裂、羊水塞栓）

#### 第9-10回（実習／中田）

長野県立こども病院 総合周産期母子医療センター 見学

#### 第11回（演習／中田）

周産期における緊急時の対応

シナリオシミュレーションガイダンス

#### 第12-13回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション1

：胎児機能不全出現時の対応

#### 第14-15回（演習／中田・竹内・柴田）

シナリオシミュレーション2

：産科危機的出血時の対応

### 〔テキスト・参考書・参考文献〕

#### ＜テキスト＞

小林康江編. 助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア. 日本看護協会出版会.

日本産婦人科学会, 日本産婦人科医会編. 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023. 日本産科婦人科学会.

北川真理子, 内山和美編. 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程. 南江堂.

#### ＜参考図書＞

日本母体救急システム普及協議会. 産婦人科必修母体急変時の初期対応第3版. メディカ出版.

全国周産期医療（MFICU）連絡協議会編. MFICUマニュアル. メディカ出版.

### 〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験 80%

助産過程の展開 15%

シナリオシミュレーション振り返り 5%

### 〔課題に対するフィードバック〕

提出された課題に関しては、その都度、コメントをフィードバックします。

### 〔授業時間外学修〕

周産期各期の正常経過について復習し理解した上で、「周産期医学Ⅰ」と関連させながら、予習・復習をしてください。（各回1時間）

助産過程の展開が授業時間内に終わらない場合は時間外に進めていただきます。

シミュレーション演習に関しては、事前課題・事後課題があります。（各シミュレーションに対して1時間）

### 〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問を受け付けます。

その他は事前にメールで連絡をしてください。

s-nakata@saku.ac.jp

### 〔実務経験のある教員等による授業科目〕

### 〔アクティブラーニング〕

○

### 〔その他履修上の留意事項等〕

近年の周産期医療の動向によりハイリスク妊産婦は増加しています。助産師には、正常と異常の両方に対応できるた

めの高い助産実践能力が求められます。正常経過であれば、自律的にケアを実践し、正常からの逸脱がある場合には、速やかに医師をはじめとする関連職種との協働が必要となります。これらの対応能力を身につけるために、正常経過だけでなくハイリスクや異常経過についての知識・技術も習得しましょう。

## ウイメンズヘルスケア/Women's Health Care

MS206mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 前期  
講義  
必修

竹内 良美、櫻井 綾香、大久保 早苗

### 〔授業の概要〕

生涯を通じて女性が直面する身体・心理・社会的健康課題を理解し、女性を全人的に捉え、その支援を実践するための基礎的能力を養い、助産師の役割を考察する。

### 〔到達目標〕

1. ウイメンズヘルスの概念を述べることができる。
2. 女性の健康と関連要因について説明できる。
3. 女性のライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴と健康課題を説明できる。
4. 女性を取り巻く社会の問題が健康問題とどう関連するのか説明できる。
5. 性科学の概念を理解し、性の健康について説明できる。
6. リプロダクティブヘルス/ライツにおける家族計画の意義を述べることができる。
7. 各種受胎調節の理論と具体的な使用方法を説明できる。
8. 母子の栄養および女性の栄養について理解し、説明できる。

### 〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

### 〔授業計画〕

- 1回：ウイメンズヘルスの概念、ライフサイクルにおける健康課題・・・講義/竹内  
2回：ウイメンズヘルスと社会的な課題・・・講義/竹内  
3回：ドメスティック・バイオレンス・・・講義/櫻井  
4回：性科学・性の多様性、性感染症・・・講義/櫻井  
5回：家族計画の意義と背景、各種受胎調節の理論と方法・・・講義/竹内  
6回：対象に合わせた受胎調節指導と計画立案・・・講義・演習/竹内  
7回：受胎調節指導の演習・・・演習/竹内  
8回：受胎調節指導の演習・・・演習/竹内  
9回：母子の栄養①・・・講義/大久保  
10回：母子の栄養②

- ・・・講義/大久保  
11回：アロマを活用したウイメンズヘルスケア①・・・講義・演習/特別講師  
12回：アロマを活用したウイメンズヘルスケア②・・・演習/特別講師  
13回：女性の栄養①・・・講義/大久保  
14回：女性の栄養②・・・講義/大久保  
15回：プレコンセプションケア、その他・・・講義/特別講師

### 〔テキスト・参考書・参考文献〕

#### テキスト

- 助産学講座5 助産診断技術学Ⅰ 医学書院。
- 助産師基礎教育テキスト第2巻ウイメンズヘルスケア 日本看護協会出版会。
- 助産学講座3 母子の健康科学 医学書院。

#### 参考図書

- 家族計画指導の実際 第2版増補版 医学書院。
- 受胎調節指導用テキスト 日本家族計画協会。
- 女性の世界地図 女たちの経験・現在地・これから 明石書店。
- 医療現場におけるDV被害者への対応ハンドブック 明石書店。
- 女性学入門 ジェンダーで社会と人生を考える ミネルヴァ書房。
- ジェンダーで学ぶ生活経済論 ミネルヴァ書房。
- EBMの手法による周産期ドメスティック・バイオレンスの支援ガイドライン 金原出版。
- アロマセラピー検定 公式テキスト1級・2級 2020年6月改訂 世界文化社。
- アロマセラピー精油事典 成美堂出版。

### 〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験 60%、受胎調節指導案の内容と演習の取り組み 20%、レポート20%

### 〔課題に対するフィードバック〕

レポートはコメントを入れて返却する。

### 〔授業時間外学修〕

1. 授業範囲のテキストを確認し、専門用語や法制度などの基礎知識を理解してから臨んでください。(60分)
2. 授業終了後には講義資料などを復習し、学んだ知識の整理を行ってください。(60分)

### 〔オフィスアワー〕

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

### 〔アクティブラーニング〕

### 〔その他履修上の留意事項等〕

1. 毎回、授業後に教室で質問を受けつけます。
2. 科目に関する質問は随時メールで受けつけます。対面での対応を希望する場合は、事前にメールで連絡してください。アドレス：y-takeuchi@saku.ac.jp

## 健康教育方法論/Methodologys of Health Education

MS207mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 前期  
演習  
必修

竹内 良美、湯本 敦子、中田 覚子、柴田 香菜子

### 〔授業の概要〕

助産ケアにおけるヘルスプロモーション活動として、健康相談及び教育活動に必要な理論や方法について理解し、対象のニーズに基づく教育プログラムの計画、立案、実施、評価を実践できる基礎的能力を養い、健康教育における助産師の役割を考察する。

### 〔到達目標〕

1. 健康教育の理論と方法を説明できる。
2. 対象に即した健康教育の計画立案・実施・評価の展開ができる。
3. 高校生を対象とした健康教育の計画立案・実施・評価ができる。

### 〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

### 〔授業計画〕

- 1回：健康教育概論・・・・・・・・・・講義 / 竹内
- 2回：健康教育方法論① 指導計画の立案・・・・講義 / 竹内
- 3回：健康教育方法論② ニーズアセスメント・・・・講義 / 竹内
- 4回：健康教育方法論③ ニーズアセスメント・・・・GW / 竹内
- 5回：健康教育方法論④ 全体設計・・・・・・GW / 竹内
- 6回：健康教育方法論⑤ 指導案・教材作成・・・・GW / 竹内
- 7回：健康教育方法論⑤ 指導案・教材作成・・・・GW / 竹内
- 8回：健康教育方法論⑤ 指導案・教材作成・・・・GW / 竹内
- 9回：出前講座 リハーサル①・・・・・・・・・・演習 / 竹内、湯本、中田、柴田
- 10回：出前講座 リハーサル①
- 11回：出前講座 リハーサル②・・・・・・・・・・演習 / 竹内、湯本、中田、柴田
- 12回：出前講座 リハーサル②
- 13回：出前講座：地域の高校・・・・・・・・・・実習 / 竹内、湯本、中田、柴田
- 14回：出前講座
- 15回：出前講座の評価・まとめ・・・・・・・・・・実習 / 竹内、湯本、中田、柴田

### 〔テキスト・参考書・参考文献〕

テキスト

- 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ. 医学書院.

参考図書

- 改訂版 国際セクシュアリティ教育ガイダンス. 明石書店.  
□ 助産師のための性教育実践ガイド. 医学書院.  
□ 助産師による思春期の健康教育. 日本助産師会出版.

□ 青少年の性行動はどう変わってきたか 全国調査に見る40年間. ミネルヴァ書房.

### 〔成績評価の方法・基準〕

健康教育実践への取り組み 40%、健康教育計画書 30%、課題レポート 30%

### 〔課題に対するフィードバック〕

課題レポートは確認後にコメントを付与し、返却する。

### 〔授業時間外学修〕

1. これまでに自身が受けてきた思春期教育、性教育、命の教育等を振り返り、必要或いは不足

していると思われる教育内容を考え、実際の指導に活かす準備を行ってください。(60分)

2. 空き時間も活用し全員で協力して計画的に出前授業の準備を進めていってください。

### 〔オフィスアワー〕

1. 毎回、授業後に質問を受け付けます。
2. 質問、相談のメールには随時対応します。対面での対応を希望する場合は事前にメールで連絡をしてください。

アドレス：y-takeuchi@saku.ac.jp

### 〔実務経験のある教員等による授業科目〕

### 〔アクティブラーニング〕

### 〔その他履修上の留意事項等〕

実際に地域に出て健康教育を行います。健康教育の基本的プロセスと方法を学ぶための体験学習です。助産師がこのような教育を行う意義は何かも含め、幅広い学びにつなげられることを期待します。

## 地域母子保健/Community Maternal and Child Health

MS208mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
2単位 通年  
講義  
必修

竹内 良美、小林 恵子

### 〔授業の概要〕

我が国の母子保健行政と施策、現代社会の地域母子保健の現状と課題を理解し、多職種と連携しながら包括的な支援体制を構築し、在日外国人を含む、地域における子育て世代のニーズに対応した母子保健サービスの提供を実践できる基礎的能力を養う。地域における妊娠期・子育て期の健康教育及び健診の場での学外授業（妊娠期パパママ教室、産後4か月児健診）を含む。

### 〔到達目標〕

1. 地域母子保健活動の目的・意義を述べることができる。
2. 地域母子保健体系を述べるができる。
3. 母子保健指標の動向を説明できる。
4. 個人・家族・地域の育児力を高めるための地域母子保健の支援方法を説明できる。

### 〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

### 〔授業計画〕

- 第 1 回 地域母子保健の目的と意義、母子の健康に関わる因子

- 講義／竹内
- 第 2 回 地域における母子保健事業の実際  
佐久市の母子保健事業の見学実習①／竹内
- 第 3 回 地域における母子保健事業の実際  
佐久市の母子保健事業の見学実習②／竹内
- 第 4 回 地域の特性と地域母子保健  
発表・GW／竹内
- 第 5 回 母子保健の現状と動向  
講義／竹内
- 第 6 回 地域母子保健行政の体系  
講義／竹内
- 第 7 回 地域母子保健活動の基盤と展開  
講義／竹内
- 第 8 回 佐久市における母子保健行政・母子保健施策  
講義／佐久市の保健師
- 第 9 回 地域母子保健活動の実際（子育て支援施設や支援事業）  
講義／特別講師
- 第 10 回 地域母子保健活動の実際（子育て支援施設や支援事業）  
講義／特別講師
- 第 11 回 地域母子保健活動の実際（子ども虐待防止への取り組み）  
講義／特別講師
- 第 12 回 地域母子保健活動の実際（子ども虐待防止への取り組み）  
講義／特別講師
- 第 13 回 国際母子保健  
講義／小林恵子
- 第 14 回 災害時の地域母子保健活動の実際  
講義／特別講師(地域の助産師)
- 第 15 回 まとめ  
講義／竹内

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〈テキスト〉

助産学講座9地域母子保健・国際母子保健.医学書院.

〈参考書〉

母子保健の主なる統計－令和6年刊行－.母子衛生研究会.

国民衛生の動向.厚生労働統計協会.

〔成績評価の方法・基準〕

筆記試験（小テスト）40%

見学レポート 30%

課題学習レポート 30%

〔課題に対するフィードバック〕

〔授業時間外学修〕

テキストを読む、事前の学習課題に取り組む。(1時間)

講義や見学、演習後に自分の考えをまとめ、今後の課題を考える。(1時間)

〔オフィスアワー〕

終了時、教室で質問を受ける

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

母子とその家族の生活の拠点は地域です。妊娠期から分娩期、産褥期と継続して考える視点を養い、地域とのかかわりに繋げていく力を養ってほしいと思います。

## 助産管理/Midwifery Management

MS209mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域

2単位 通年

講義

必修

湯本 敦子、中嶋 智子、保谷 ハルエ、黒澤 かおり、  
廣間 武彦、北澤 理恵

〔授業の概要〕

助産管理に関連する法律と助産師の義務、助産管理の基本概念、周産期医療システム、病院・助産所における助産業務管理、及び助産における医療安全とリスクマネジメント、災害への備えと災害時の対応について学修する。

〔到達目標〕

1. 助産管理の基礎的概念について説明できる。
2. 助産の行われる場（病院・助産所）における助産管理について説明できる。
3. 助産業務における医療安全と危機管理について説明できる。
4. 周産期医療システムの運用と地域連携について説明できる。
5. 母子保健における災害対策・災害支援について説明できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

1回 助産ケアに関連する法律と義務・責任／助産業務ガイドライン

(講義/湯本)

2-3回 助産管理の基本と病院における助産業務管理(web授業)

(講義/太田)

4回 産科病棟・産科外来における助産管理

(講義/深町)

5回 助産所における助産サービスと管理 1

(講義/北澤)

6-7回 周産期医療システムと連携（学外授業：長野県立こども病院）

(講義/廣間・看護部)

8-9回 助産所における助産サービスと管理 2

(講義/保谷)

10-11回 助産所における助産サービスと管理 3

(講義/黒澤)

中間試験を行います(11回までの範囲)

<後期>

- 12回 災害時福祉避難所の機能と運営  
(講義/中嶋)
- 13-14回 災害対策・母子支援 避難所ゲームHUG  
(演習/中嶋)
- 15回 まとめ  
(講義/湯本)

[テキスト・参考書・参考文献]

テキスト：助産学講座10 助産管理 医学書院  
助産師業務要覧 第3版 基礎編  
助産師業務要覧 第3版 アドバンス編 日本看護協会出版会

参考文献：助産師業務要覧 第3版 実践編 日本看護協会出版会

助産師基礎教育テキスト第3巻 周産期における医療の質と安全

その他適宜授業中に示す

[成績評価の方法・基準]

中間試験 筆記試験(湯本・太田・黒澤・保谷担当部分)  
授業レポート：6-7回長野県立こども病院学外授業および13-14回災害授業について課題レポートを課す。

[課題に対するフィードバック]

[授業時間外学修]

助産管理は国家試験問題の頻出問題に関連する内容です。自分なりの学習方法でまとめ、よく復習し、覚えてください。各回の予習・復習をしっかりとってください。

レポート課題は授業開始後に提示する。

[オフィスアワー]

授業後に質問を受け付ける。

[実務経験のある教員等による授業科目]

[アクティブラーニング]

[その他履修上の留意事項等]

助産師の活躍の場の広がりを理解し、さまざまな場での助産師の活動とその役割や意義について学修してください。また助産師の大先輩たちから、様々な助産師像を学んでください。

助産学実習Ⅰ(妊娠期～育児期・継続ケア)/Midwifery PracticumⅠ(Prenatal～Postnatal/Continuity Care)

MS210mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
2単位 後期  
実習  
必修

中田 覚子、竹内 良美、柴田 香菜子

[授業の概要]

継続事例として妊娠期から産褥1か月までの期間を継続して受け持ち、信頼関係を築きながら対象の経過とニーズに応じた個別的な助産過程を展開する。さらに、可能な限り、産後4か月前後に電話訪問等による情報収集とアセスメントを行う。

[到達目標]

1. 継続事例に対して行われる妊婦健康診査の目的や意義を理解し、一部実施できる。
2. 継続事例の妊娠期から産後1か月・生後1か月(可能であれば産褥4か月・生後4か月)までの助産過程を展開できる。
3. 継続事例およびその家族に対して必要な健康教育を理解し、実施できる。

[学位授与方針(ディプロマポリシー:DP)との関連]

[授業計画]

<実習方法>

妊娠32週以降の正常経過をたどっている妊婦を、妊娠期から産褥1か月まで継続して受け持ち、助産ケアを実施する。可能であれば、産褥4か月前後に子育てサロンに招く。

<実習期間>

2024年9月2日～2024年11月22日(うち90時間程度が本実習に該当する)

<実習施設>

佐久市立国保浅間総合病院

JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター

JA長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院

他

※詳細は実習要項参照

[テキスト・参考書・参考文献]

前期開講科目で使用したすべてのテキスト・参考書・講義資料

[成績評価の方法・基準]

実習要項に記載する方法・基準に基づき評価します。

[課題に対するフィードバック]

[授業時間外学修]

臨地実習に向け、事前に前期履修科目の知識・技術の確認が必要となります。特に、「妊娠期・分娩期・産褥期・新生児・乳幼児期の診断とケア」で学修したすべての講義内容・演習内容を確実に習得して臨地実習に臨んでください。

土日祝日を含む実習を行います。実習時間の調整は各施設の実習担当教員と行ってください。

【オフィスアワー】

各施設の実習担当教員と密に連絡を取り合い、実習を進めてください。

(連絡方法は実習オリエンテーション時に説明予定)

【実務経験のある教員等による授業科目】

担当教員全員が助産師として周産期医療における十分な臨床経験を持っており、その実務経験を生かした臨地実習指導を行います。

【アクティブラーニング】

【その他履修上の留意事項等】

主体的に前期から学修の積み重ねていくことを期待します。自身の健康管理に十分留意するとともに、自律した行動がとれるよう、入学時より、自己管理・自己コントロールを心掛けてください。

実習中は、看護師のライセンスをもつ者としての責任、医療チームの一員としての責任をもち、臨床指導者や教員に対し、必要な連絡・報告・相談を確実に行ってください。

## 助産学実習Ⅱ（分娩期ケア）/Midwifery PracticumⅡ (Childbirth)

MS211mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
8単位 後期  
実習  
必修

中田 覚子、竹内 良美、柴田 香菜子

【授業の概要】

分娩第1期から分娩後2時間までを受け持ち、産婦・胎児、家族に対する助産過程の展開及び分娩介助を行う。原則として、正常産10例程度（継続事例を含む）を目安とする。

【到達目標】

1. 分娩期の助産過程を展開できる（分娩介助10例）
2. 母子保健医療チームにおける助産師の役割および多職種との連携・調整について考察できる

【学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連】

【授業計画】

<実習方法>

ローリスクの分娩介助10例を通じて、分娩第1期から分娩第4期までの分娩介助を含む助産過程の展開を行う。

<実習期間>

2024年9月2日～2024年11月22日（うち360時間程度が本実習に該当する）

<実習施設>

佐久市立国保浅間総合病院

JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター

JA長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院

他

※詳細は実習要項参照

【テキスト・参考書・参考文献】

前期開講科目で使用したすべてのテキスト・参考書・講義資料

【成績評価の方法・基準】

実習要項に記載する方法・基準に基づき評価します。

【課題に対するフィードバック】

【授業時間外学修】

臨地実習に向け、事前に前期履修科目の知識・技術の確認が必要となります。特に、「妊娠期・分娩期・産褥期・新生児・乳幼児期の診断とケア」で学修したすべての講義内容・演習内容を確実に習得して臨地実習に臨んでください。

土日祝日・夜間を含む実習を行います。実習時間の調整は各施設の実習担当教員と行ってください。

【オフィスアワー】

各施設の実習担当教員と密に連絡を取り合いながら、実習を進めてください。

(連絡方法は実習オリエンテーション時に説明予定)

【実務経験のある教員等による授業科目】

担当教員全員が助産師として周産期医療における十分な臨床経験を持っており、その実務経験を生かした臨地実習指導を行います。

【アクティブラーニング】

【その他履修上の留意事項等】

主体的に前期から学修の積み重ねていくことを期待します。分娩は、決められた実習時間内にあるものではありません。昼夜問わず分娩経過に合わせ、産婦および胎児のケアを行います。自身の健康管理に十分留意するとともに、自律した行動がとれるよう、入学時より、自己管理・自己コントロールを心掛けてください。

実習中は、看護師のライセンスをもつ者としての責任、医療チームの一員としての責任をもち、臨床指導者や教員に対し、必要な連絡・報告・相談を確実に行ってください。

## 助産学実習Ⅲ（ハイリスク母子のケア）/Midwifery PracticumⅢ (High Risk Condition)

MS212mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 後期  
実習  
必修

中田 覚子、竹内 良美、柴田 香菜子

【授業の概要】

ハイリスク状態にある妊産婦・胎児あるいは褥婦・新生児のいずれかを受け持ち、健康状態のアセスメントに基づき、指導助言を受けながら、その対象に適切なケアを実践する。他職種とのチーム連携によるハイリスク事例や緊急時の対応を学び、考察する。

【到達目標】

1. ハイリスク状態にある妊産婦・胎児あるいは褥婦・新生児について、医学的、身体的、心理的、社会的、環境的状态を把握し、適切に助産過程を展開できる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

＜実習方法＞

ハイリスク状態にある妊産婦・胎児あるいは褥婦・新生児を1例受け持ち、助産過程を展開する。

＜実習期間＞

2024年9月2日～2024年11月22日（うち45時間程度が本実習に該当する）

＜実習施設＞

佐久市立国保浅間総合病院  
JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター  
JA長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院

他

※詳細は実習要項参照

〔テキスト・参考書・参考文献〕

前期開講科目で使用したすべてのテキスト・参考書・講義資料

〔成績評価の方法・基準〕

実習要項に記載する方法・基準に基づき評価します。

〔課題に対するフィードバック〕

〔授業時間外学修〕

臨地実習に向け、事前に前期履修科目の知識・技術の確認が必要となります。特に、「周産期ハイリスクケア」「妊娠期・分娩期・産褥期の診断とケア」で学修したすべての講義内容・演習内容を確実に習得して臨地実習に臨んでください。

土日祝日を含む実習を行います。実習時間の調整は各施設の実習担当教員と行ってください。

〔オフィスアワー〕

各施設の実習担当教員と密に連絡を取り合い、実習を進めてください。

（連絡方法は実習オリエンテーション時に説明予定）

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

担当教員全員が助産師として周産期医療における十分な臨床経験を持っており、その実務経験を生かした臨地実習指導を行います。

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

主体的に前期から学修の積み重ねていくことを期待します。実習中は、自身の健康管理に留意するとともに、看護師のライセンスをもつ者としての責任、医療チームの一員としての責任をもち、臨床指導者や教員に対し、必要な連絡・報告・相談を確実に行ってください。

助産学実習Ⅳ（地域における母子保健活動）/  
Midwifery PracticumⅣ（Community Based Practice）

MS213mw

専攻科＞助産学専攻科＞実践領域

1単位 後期

実習

必修

竹内 良美、中田 覚子、柴田 香菜子

〔授業の概要〕

地域における助産・母子保健活動の実際を学ぶ。また、助産所における管理を学ぶ。地域における助産師の役割や開業助産師をモデルとする助産師の自律性と専門性を考察する。

〔到達目標〕

1. 助産所における助産業務管理の実際を確認できる。
2. 助産所の活動内容について、地域における機能と役割を考察できる。
3. 母子保健活動分野における助産師の役割および多職種との連携・調整について考察できる。
4. 育児期における、産後・生後4か月程度の母子のアセスメントができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

＜助産所実習＞

実習方法：助産所における助産業務の実際を、実習を通じて確認する。

実習期間：2024年11月25日～11月30日・12月2日～12月7日

この期間中の2日間

実習施設：東御市立助産所とうみ（東御市）

助産所ほやほや（長野市）

＜産後・生後4か月の母子についての実習＞

実習方法・実習期間は別途示す

※詳細は実習要項参照

※助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを履修するためには、

前期開講科目のうち必修科目の単位をすべて習得することが必須条件である。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

前期開講科目で使用したすべてのテキスト・参考書・講義資料

〔成績評価の方法・基準〕

実習要項に記載する方法・基準による

〔課題に対するフィードバック〕

「毎日の記録」は臨床指導者からコメントをいただき、返却する。

〔授業時間外学修〕

実習する助産所に関する事前学習、レポート課題のための準備等が必要となる。(60分)

産後・生後4か月の母子についての実習の準備については、別途示す。

〔オフィスアワー〕

必要時、メール連絡ください。y-takeuchi@saku.ac.jp

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

担当教員はすべて、看護師・助産師として周産期医療における十分な臨床経験を持っており、その実務経験を生かした臨地実習指導を行う。

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

助産学実習Ⅳでは、助産所実習と産後・生後4か月の母子の実習を行います。助産所実習では特に助産管理に焦点をあて、助産所における助産管理を学びます。組織の運営や地域社会の中での助産師の在り方、役割や多職種との連携・協働について考察していきましょう。また、産後・生後4か月の母子の実習を通して、妊娠期～分娩期～産褥期・育児期の継続した支援について考察していきましょう。

助産学研究/Research in Midwifery

MS214mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 実践領域  
1単位 通年  
演習  
必修

中田 覚子、湯本 敦子、竹内 良美、柴田 香菜子

〔授業の概要〕

助産師が研究を行うことの必要性和意義を理解し、事例研究を通して研究の一連のプロセスとその実際及び研究倫理について学修する。

〔到達目標〕

1. 文献のクリティークを通じて、根拠に基づいた助産実践のあり方を考察できる。
2. 実習での継続事例や受け持ち事例へのケアを研究的にまとめることができる。
  - 1) テーマを設定できる。
  - 2) 事例の妊娠・分娩・産褥・新生児期の経過を簡潔に述べることができる。
  - 3) 助産過程の展開をテーマに絞ってまとめることができる。
  - 4) 文献や理論を活用し、得られた結果や反応の意味を考察できる。
  - 5) 看護実践への示唆を見出すことができる。
3. 作成したレポートをプレゼンテーションすることができる。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

<前期>

1-2回（演習／図書館）

文献検索の方法（図書館ガイダンスを含む）

3回（講義／中田）

助産学研究の必要性／事例研究レポートの作成方法

4回（演習／中田）

文献抄読①：課題文献のクリティーク

5-6回（演習／中田・竹内・柴田）

文献抄読②：プレゼンテーションおよびグループディスカッション

<後期>

7-8回（実習／中田）

長野県母子衛生学会学術講演会への参加

9-10回（演習／中田・竹内・湯本・柴田）

中間発表：研究計画のプレゼンテーション

11-13回（演習／中田・竹内）

事例研究レポート作成：個別指導

14-15回（演習／中田・竹内・湯本・柴田）

事例研究発表：プレゼンテーション

※事例研究レポートは助産学実習で受け持ったいずれかの事例についてまとめるため、

助産学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修し、単位認定見込みでなければ評価することができない。

〔テキスト・参考書・参考文献〕

指定なし

〔成績評価の方法・基準〕

文献カードの作成 8%

プレゼンテーション①（文献抄読）4%

プレゼンテーション②（研究計画）4%

レポート（学会参加）4%

事例研究レポートの執筆および発表 80%

<要件>

助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを終了しており、単位認定見込みであること

〔課題に対するフィードバック〕

プレゼンテーションおよび作成レポートに対しては、その都度、コメントをフィードバックします。

〔授業時間外学修〕

<前期>

・関心のあるテーマで文献を探し、読んで概略をまとめる。

<後期>

・指導教員にアポイントをとり、指導を受けられるよう準備してください。

・レポート作成プロセスにおいて課題を提示することがあります。

・指導後は指導箇所を文献等を用いたり、考察を深め、修正・加筆してください。

〔オフィスアワー〕

随時、メールで質問を受け付けます。

s-nakata@saku.ac.jp

レポート作成に関しては、各担当教員と面接時間を調整してください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

○

〔その他履修上の留意事項等〕

自らが実施した助産ケアを客観的に整理し評価することは、根拠ある実践をするうえでとても意義があることです。また、文献を活用して思考すること、ディスカッションを通して思考することにより、助産師としての視野を広げていきましょう。

### 不妊症と不妊ケア/Midwifery Care - Infertility

MS301mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 関連領域  
1単位 後期  
講義  
選択

竹内 良美、木村 薫、宮澤 香代子

〔授業の概要〕

不妊の定義・検査・治療、生殖補助医療に関する基礎的な医学的知識、不妊症の女性及びカップルの健康課題について理解し、不妊カウンセリングを含む不妊症に悩む人々へのケアを実践できる基礎的能力を養う。

〔到達目標〕

1. 不妊の実態と原因・検査、治療について説明できる。
2. 不妊カップルの心理・社会的反応を知り、不妊カウンセリングの内容と特性を述べることができる。
3. 不妊認定看護師の業務や役割・資格等を理解できる。
3. 不妊カップルが適切な検査や治療を受けるための支援を述べることができる。
4. 不妊治療に伴う問題について、自己の考えを持つことが出来る。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

- 第 1 回 生殖補助医療の基礎知識  
講義／木村
- 第 2 回 生殖補助医療の実際と出生前診断について  
講義／木村
- 第 3 回 生殖補助医療に関する動向と課題について  
講義／竹内
- 第 4 回 不妊治療中の看護の実際  
講義／竹内
- 第 5 回 不妊当事者からの学びと社会的支援（自助グループ）  
講義／特別講師(NPO法人Fine)
- 第 6 回 不妊治療中の対象の心理・悩み・社会的反応・相談の実際  
講義／宮澤(助産師、不妊症看護認定看護師)

第 7 回 不妊治療と治療を受ける対象への不妊認定看護師の機能・役割と支援

講義／宮澤

第 8 回 不妊をめぐる課題、まとめ

講義／竹内

〔テキスト・参考書・参考文献〕

〈テキスト〉

・助産学講座2,基礎助産学[2]母子の基礎科学.医学書院.

〈参考図書〉

- ・今すぐ知りたい！不妊治療Q&A.医学書院.
- ・生殖医療の基礎知識アップデート.臨床婦人科産科, Vol.75No.1,医学書院.
- ・不妊症・不育症ガイド.時事通信社.
- ・生殖医療ポケットマニュアル第2版.医学書院.
- ・信濃毎日新聞取材班(2015).不妊治療と出生前診断－温かな手で－.講談社.

〔成績評価の方法・基準〕

- ・小テスト 40%
- ・事前課題レポート・事後課題レポート 20%
- ・最終レポート 40%

〔課題に対するフィードバック〕

レポートはコメントを入れて返却する。

〔授業時間外学修〕

授業項目を教科書を読んでノートに整理する。講義終了時に再度理解度を確認する。 約45分

〔オフィスアワー〕

- ・授業終了後、教室で質問を受ける。
- ・随時、メール（y-takeuchi@saku.ac.jp）で質問を受ける。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

女性の結婚・出産年齢が高くなっている昨今、不妊治療を考慮するカップルは増加傾向にあります。そのような方々に寄り添い、求めている情報を提供できることは助産師にとって重要な役割になります。自らの価値観に縛られることなく最新の知識を客観的に身につけてほしいと思います。

### 家族・子ども保健福祉支援論/Health and Welfare for Families and Children

MS302mw

専攻科 > 助産学専攻科 > 関連領域  
1単位 後期  
講義  
選択

竹内 良美、尾島 万里

〔授業の概要〕

現代社会において様々な事情から、社会的、精神的、経済的にも不安定になりやすい状況におかれる社会的ハイリスクの女性、子ども、家族が抱える課題とその支援について、保健・福祉協働支援の視点から学修する。

〔到達目標〕

1. 母子福祉に関連する法律・制度および関係機関の役割について理解する。

2. 現代社会における家族関係と子育て家族の課題について理解する。

3. 周産期～育児期において福祉支援を必要とする母子・家族について理解する。

4. 保健・医療・福祉連携による支援を必要とする母子・家族への支援の在り方について考察する。

〔学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）との関連〕

〔授業計画〕

<前期>

1-4回

母子保健福祉に関連する法律・制度・関係機関

子ども家庭福祉政策、保育政策

地域における子育て家族の課題

精神疾患を持つ母親の子育て家族の課題

(講義/尾島)

5-6回

福祉支援を必要とする母子の理解と支援の実際1 妊娠SOS

福祉支援を必要とする母子の理解と支援の実際2 子どもの権利と社会的養育

(講義/特別招聘講師)

<後期>

7回 社会的養育における課題 (講義/特別招聘講師)

8回 地域における母子保健医療と福祉との協働 (講義/特別招聘講師)

〔テキスト・参考書・参考文献〕

参考テキスト：

助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 医学書院

助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア

〔成績評価の方法・基準〕

課題レポート 100%

授業開始後に指示します。

〔課題に対するフィードバック〕

レポートはコメントを入れて返却する。

〔授業時間外学修〕

さまざまな背景を抱える家族への関心を持ち、新聞、雑誌、書籍なども読み、親子・家族関係の発達を支える現場での実践可能な支援について考える努力をすること。

〔オフィスアワー〕

授業終了後に質問を受け付ける。

その他研究室、在室時の時間を調整する。事前に連絡をください。

〔実務経験のある教員等による授業科目〕

〔アクティブラーニング〕

〔その他履修上の留意事項等〕

家族の始まりにおいて現代社会の中で人々が抱える母子・父子・親子・家族における課題や問題事項に関心を持ち、自分なりの考えを深める学びを心掛けてください。